

点描ぐんま経済

日銀支店長

見聞録

■130■

「前橋トライアスロンフェスタ」に先月参加した。「日本一やさしい」と銘打った企画に1歳半から81歳までの老若男女700人強が参加して汗を流した。子どもが小さな身体で50メートルを泳ぎ切るのも圧巻だったが、皆あえて手を差し伸べることなく、優しい眼差しで見守っていたシーンに感動した。スポーツは、同じ空間に居合わせ人々たちの間の「カベ」を瞬時になくす。だから「多様性」や「寛容」という形容がよく似合う。

「カベ」取り払う祭り

寛容さの広がりに期待

このフェスタに参加できた幸運に感謝する。そして今月は前橋祭り。16基もの御神輿が立ち

「フェス」。全国から集まった古本がアーケード街中に陳列され、これを無料で手に入れられる。欲しい本と出会えるか、そのワクワク感に大人も子どももじゃがみ込んで目を輝かせていた。世代や空間といった「カベ」を超えて本を引き継いでい

Joy, Unity (希望、喜び、連帯)を謳い、融和を訴える。対する共和党候補トランプ陣営は、党大会でジェームズ・ブラウンの「It's A Man's Man's Man's World (世界は男が回している)」を入

場曲にして話題になるなど、分断が深まるばかりだ。大接戦が予想される情勢の中、相手政党に対する敵対意識を調査すると、近年、対立が先鋭化しているようだ。つまり、「相手に対する寛容さ」が欠如してきているのだ。選挙戦もお祭り騒ぎで熱を帯びるものだが、対戦相手には敬意を払い、訴える政策を健全にぶつかり合わせてほしいと思う。当地のフェスタやお祭りを感じた「カベの取っ払い」や「他者への寛容さ」が世界中に広がることを願ってやまない。

川町大通りに集合し、一斉に担ぎ上げたシーンに「お祭り男」の血がたぎった。驚いたのは、御神輿の持ち手に人が乗るスタイル。しかも女性も子どもも分け隔てなく。オープンでエネルギーシユな上州魂に魅入った。

それから「前橋ブック

それから「前橋ブック

それから「前橋ブック

それから「前橋ブック

それから「前橋ブック

それから「前橋ブック



宮 将史(みや・まさふみ)

1974年、神奈川県出身。

一橋大学院経済学研究科修士課程修了。2000年日本

銀行入行。24年7月から現職